

国策の制定

令和5年10月26日

黒田 毅

現状の閉鎖性は、政治における決断を要求されるものである。これら経済、政治の停滞性は、政治における決断と行動において未来を求めることができるのである。

1府12省庁から、選抜したチームにおける新しい国家ビジョンと社会構築の計画と詳細な雛形の作成は、世界の実情への国家の新しい形を求めるものである。

これらは財政、外交、内政における完全な閉鎖性を打開することを要求する。

国家の独立性の回復と新しい外交戦略の作成、財政の健全化、新しいデジタルマネージシステムと行政システムへの移行、産業の構造転換、新しい社会への転換と地方行政におけるコンセンサスの形成、新しい技術基準における自衛隊と宇宙開発への移行、教育の新しい形と大学整備など、これらへの解決と計画を要求するものである。

これらは新しい現実への転換と社会と生活における基本的な現実の見直しなど、政治とともに、新しい国体の形成を求めるものである。

これらは国家100年の計であり、もっともな熱意を求めるものである。

これらは大幅な現実の変化を提案するものであり、既存現実との軋轢を否定しないものである。しかし、現実においてもはや選択はないと考えるものである。

これらは未来という現実への対応が、変化を要求するのであり、これらにおいて国家は唯一未来を求めることができるのである。

これらは現状の永続という選択は不可能であり、変化を恐れず未来を求めることが、唯一未来を与えるものであると考える。

既存産業社会基盤は、必ずその飛躍を得ることができるのである。それは政治における新しいプレゼンスの構築が求められるのである。これら新しい国家像は、未来を得ることへの正しい選択であるとする。これらは唯一変化を求めなくてはならないのである。